別紙１

# 仕様書

ロボット・ＡＩ部

１．件名

（a-1）「AI を活用した自動車の完成検査の精緻化・合理化に係る調査」

２．調査の必要性

現行の自動車型式指定制度において自動車メーカー等が行う完成検査は、人である「完成検査員」が実施することとされている一方、近年、AI 等のデジタル技術を活用し、人に代わり完成検査を実施するシステムの技術開発が進められている。

このため、AI 等のデジタル技術を活用した完成検査の精緻化・合理化を実現するため、当該技術を活用したシステムに求められる要件等を整理する必要がある。

３．具体的な調査の内容

他分野での AI 等の活用状況を参考にし、実際の完成検査ラインを用いて、視覚による完成検査をカメラや AI 等の活用により自動化するシステム及び完成検査を行う完成検査員の作業状況等をサポート・チェックするシステムの導入に資する実証実験を実施する。そのうえで、これらの結果等を踏まえ、上記システムを活用した完成検査の精緻化･合理化及び型式指定監査の合理化の可能性について調査する。

４．最終目標

視覚による完成検査をAI等の活用により自動化するシステム及び完成検査を行う完成検査員の作業状況等をサポート・チェックするシステムに求められる要件を整理する。また、これらのシステムを活用した型式指定監査の合理化の可能性について検証する。

５．調査期間

ＮＥＤＯが指定する日から 2021 年 3 月 19 日（金）まで

６．予算額

44,000万円以内

７．報告書

提出期限：2021 年 3 月 19 日（金）

提出部数：電子媒体ＣＤ－Ｒ（ＰＤＦファイル形式）　１枚

提出方法：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って提出のこと。

https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html

８．報告会等の開催

委託期間中又は委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがある。